

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 140-0002
 住 所 東京都品川区東品川4丁目10番1号
 氏 名 コナミスポーツ株式会社
 代表取締役社長 落合 昭

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	コナミスポーツ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-18-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	スポーツクラブの開発、運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,542	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成29年度 ～ 平成31年度 (報告年度30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,588 t-CO ₂ (調) 3,589	(実) 3,110 t-CO ₂ (調) 3,114	(実) 2,914 t-CO ₂ (調) 2,919	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 3,480 t-CO ₂ (調) 3,480
削減率		(実) 13.3 % (調) 13.2	(実) 18.8 % (調) 18.7	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	17318.2m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出原単位等の値	0.2071	0.1795	0.2104		0.2009
削減率		13.3 %	-1.6 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	館内照明設備のLED照明への更新、及びプールおよび浴槽関係のろ過循環ポンプへのインバーター制御機器を設置による電気消費量の削減。
第2年度	新百合ヶ丘支店の館内照明設備のLED照明への更新完了。その他エアコンの設定温度を社内ECO基準に合わせて適正な室温管理を実施。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

<p><全社目標> 川崎アネックス閉店(2017年4月末)に伴い、原単位は昨年度より増加している。その他の現営業支店(3支店)のみで算出した原単位では第1年度比で3.9%、基準年度比で5.1%削減</p>
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 照明設備の運用管理 2. ろ過循環ポンプの運用管理 3. 節水による給湯熱源の省エネ 4. 空調の適正管理 5. 老朽化機器の高効率化更新
	第1年度	1. 照明設備の運用管理：3施設の照明をLED照明に変更した。 2. ろ過循環ポンプの運用管理：3施設にインバーター制御機器を設置した。 3. 節水による給湯熱源の省エネ：節水器具の設置及び浴室の水栓器具の吐水量の調整を実施した。 4. 空調の適正管理：社内ECO基準を設定し施設に周知した。 5. 老朽化機器の高効率化更新：第1年度は実施を見送った。
	第2年度	1. 照明設備の運用管理：新百合ヶ丘支店の照明をほぼLED照明へ変更。 2. 濾過循環ポンプの運用管理：利用者数に応じたインバーターの運用を開始。 3. 節水による給湯熱源の省エネ：浴室の水栓器具の吐水量の調整を実施。 4. 空調の適正管理：社内ECO基準を設定し運用開始。 5. 老朽化機器の高効率化更新：実施は見送り。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー等の利用実績

ア 再生可能エネルギー等の利用に係る考え方

再生可能エネルギーについては、今後の課題とするが、費用対効果の面から、積極的には行わない。

イ 計画期間の再生可能エネルギー等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	○今後の検討課題とする。
第1年度	○今後の検討課題とする。
第2年度	○今後の検討課題とする。
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. コージェネレーション設備の導入検討 2. ゴミ排出量の削減推進
第1年度	1. コージェネレーション設備の導入検討：第1年度の実施は見送りました。次年度の導入を検討いたします。 2. ゴミ排出量の削減推進：第1年度は着手することができませんでした。第3年度中の実施を目指します。
第2年度	1. コージェネレーション設備の導入検討：第2年度見送り。引き続き検討を続けます。 2. ゴミ排出量の削減推進：第2年度も着手できず。第3年度中の実施を目指します。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	2,864	t-CO ₂
(調)	2,857	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
新百合ヶ丘	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-16-1	8048	フィットネスクラブ	1,084 t-CO ₂
川崎	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-16-1	8048	フィットネスクラブ	1,054 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	1
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--